



いつかは…

突然ですが、「人の数だけ人生があり、同じ人生は二つとない」と思います。

しかし、どんな人生にも共通していることがあるとすれば、「**順風満帆の時もあれば、逆風が吹いて思い通りにならない時もある**」ということではないかなと思います。

現在小学生の子どもたちも、いつかは社会に出て、自分の人生を歩んでいく日がきます。その時は**自分の力で自分の人生を拓き、築くことが求められます**。誰かが自分の人生をつくってくれる、肩代わりしてくれることはないのではないかと思います。そして、**人生の逆風が吹いた時、それを乗り切るだけの力を十分持っている人と、持っていない人とでは人生が大きく変わ**ると思います。

では、その力はどうやって自分のものになるのでしょうか。それは「しなければいけないことをやり遂げる」「嫌な思いをした時の解決・解消を前向きに考える」「言い訳をしない」など、**自分のネガティブな感情に対してポジティブに働きかけるトレーニングの有無**だと思います。

小学生には小学生なりのネガティブな感情があると思います。それを自分の力で解消していくように発達段階や状況に応じて周囲のサポートも得ながら、トレーニングしていく必要があるのではないかと思います。

誰かが自分の目の前にある障害物を取り除いてくれるのを待っているのでは、いつ先へ進めるのかわかりません。障害物を乗り越えるのか、迂回していくのか、穴を空けるのかなど、**先へ進む方法を自分で考え、実践していく力**は一朝一夕には身につかないと思います。**小さな積み重ねが将来の大きな力**となるのではないかと思います。